

令和7年6月3日

浪江町スマート農業（アイガモロボ）講習会のご案内

営農者の除草作業の負荷を軽減する水田雑草抑制ロボット「アイガモロボ」は、近年、全国各地の実証圃場で成果を挙げており、今般、同ロボットの实証実験を行うに際し浪江町半谷農場圃場にて下記日程等により講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

【概要】アイガモロボの稼働に必要な圃場整備概要、動作確認の講習

- (1) 日 時：6月10日（火）10時～（小雨決行）
- (2) 場 所：福島県双葉郡浪江町酒田地区 半谷農場 水稻圃場
- (3) 主 催：東北大学、株式会社 NEWGREEN、浪江町 （協力：井関農機株式会社）

本実証実験では、NEWGREEN 社開発の田植え直後の水田土壌をかき回して雑草抑制する「アイガモロボ」に東北大学（未来科学技術共同研究センター）のリチウムイオン電池技術を活用した太陽光パネルからの発電のみによる完全自律型ロボを提供し、同大学（農学研究科）が研究中的のドローン等を活用した雑草害の定量化、有機米農法における同ロボの生産性評価検証を行います。本年度は新型市販版ロボ（右）の試験を実施します。

浪江町および南相馬市の支援のもと浪江町半谷農場圃場、南相馬市あいアグリ太田圃場にて実証実験が実施されます。アイガモロボの安定稼働に必要な「均平」、「水位管理」などの圃場整備を井関農機社が担当しています。

本取組における産学官連携活動が、福島浜通り地域における営農再開の促進につながることを期待しております。本実証実験は（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構の「大学等の『復興知』を活用した人材育成基盤構築事業」によるものです。



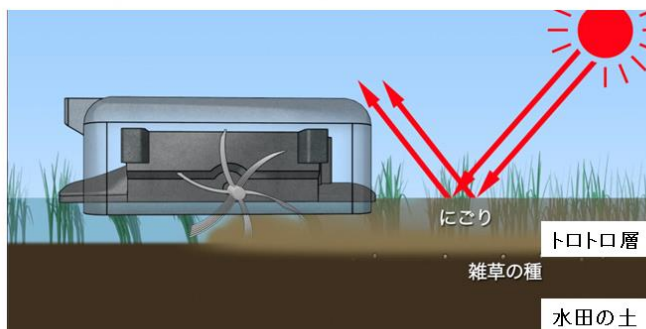
新型市販版アイガモロボ

【アイガモロボとは？】

化石燃料、化学農薬・肥料、人手を使わずに高付加価値の有機米を作り、農家の収益に貢献するロボット

水に浮かべる自動抑草ロボット

※国際特許出願中



ポイント① 水のにごりで雑草抑制

スクリーンの水流で土を巻き上げ田んぼ全体をにごらせ、太陽光を遮ることで、雑草が光合成をしにくい圃場環境を作ります。

ポイント② トロトロ層に種子を埋没

巻き上げられた土が堆積してトロトロ層（やわらかい土の層）が形成され、雑草種子を出芽できない深さに埋没します。



問合せ：浪江町農林水産課農政係 [吉田、石川]

連絡先：0240-34-0245

東北大学未来科学技術共同研究センター[千葉、佐藤]

同：022-795-4004

〃 農学研究科次世代食産業創造センター[大谷]

同：022-757-4482

事業者によるサポート体制